

第 59 回 全国国立大学法人病院検査部会議 議事要旨

期 日：平成 24 年 6 月 21 日（木）～ 22 日（金）

会 場：千里ライフサイエンスセンター（大阪府豊中市）

当番校：大阪大学

出席者：各大学の検査部長、技師長等 88 名（陪席：当番校、次期当番校）

1 日目 平成 24 年 6 月 21 日（木）

臨床検査部施設見学 16:10～17:00

検査部会議懇親会 18:00～20:00

2 日目 平成 24 年 6 月 22 日（金）

進行係から資料の確認があり、開会宣言の後、大阪大学医学部附属病院の吉川秀樹病院長及び日高洋臨床検査部長から挨拶があった。その後、慣例により議長に当番校の日高部長を提案、了承され議事に入った。引き続き議長から文部科学省の陪席者の紹介が行われた。さらに平成 24 年度の新任の検査部長 4 名、技師長 8 名、医療技術・診療支援部長 1 名の紹介があった。

第一部 特別講演 『大学病院を取り巻く諸課題』 9:30～10:20

文部科学省高等教育局医学教育課 大学病院支援室 尾田史郎 室長補佐

司会 東京大学 矢富 裕 検査部長

「平成 24 年度予算」「大学改革を巡る昨今の状況」「今夏の電力需給対策」「特定機能病院の見直し」「臨床研究・治験活性化 5 か年計画 2012」「メディカル・イノベーション」「福島の現状」について講演が行われた。

Q：消費税が上がると病院経営が苦しくなると考えられるが対策は？

A：大学病院だけの問題ではなく医療機関全体の問題である。窮状については、関係機関に訴えていきたい。

Q：特定機能病院の承認要件の中に、自前の検査能力を持つということも入れていただきたい。

A：厚生労働省との打ち合わせの場で要望を伝える。

Q：特定機能病院の承認要件の中で、論文について数だけというのは適切とは言えないのでは？

A：論文の質的な担保についても検討している。

Q：大学改革というミッションを遂行するための整備をお願いしたい。

A：各大学の事情を聞いて対応したい。

第二部 シンポジウム 1 『災害時の検査部の対応』 10:30～12:00

司会 東北大学 賀来満夫 検査部長

1. 「阪神・淡路大震災を経験して」 神戸大学 林 伸英 臨床検査技師長

阪神・淡路大震災における神戸大学病院検査部の状況、挫滅症候群、CSCATTI、アクションカードなどについて報告があった。

Q：阪神・淡路大震災の時に、周辺病院と検査の協力はできましたか？

A：できなかった。

2. 「新潟県中越沖地震を経験して」 新潟大学 高野 操 臨床検査技師長

新潟県中越地震と新潟県中越沖地震における新潟大学病院検査部の状況、DVT 検診、災害訓練などについて報告があった。

3. 「東日本大震災を経験して」 東北大学 長沢光章 臨床検査技師長

東日本大震災における東北大学病院検査部の状況、日本臨床検査医学会・日本臨床衛生検査技師会・日本臨床検査自動化学会・日本臨床検査薬協会などとの連携、感染症対策などについて報告があった。

Q：残余血清、試薬が飛び散ることはなかったのか？

A：2階ということであまり揺れなかったため、残余血清、試薬が飛び散ることはなかった。

4. 「東南海・南海地震に備えて」 浜松医科大学 泉 正和 臨床検査技師長

浜松医科大学の東南海・南海地震対策、検査部の対策などについて報告があった。

5. 「検査部会議の対応」 東京大学 矢富 裕 検査部長

主導的な役割を担う臨床検査関連学会や関係団体とともに国立大学病院検査部会議も1つのネットワークとして支援することの必要性などについて報告があった。

昼食 12：00～13：00

幹事会 12：00～13：00

第三部 会務報告、幹事会報告 13：00～13：50

東京大学 矢富 裕 検査部長、横田浩充 臨床検査技師長

平成 24 年度人事異動、次期当番校（愛媛大学の澤春彦部長）、全国国立大学臨床検査技師会、平成 24 年日本臨床検査医学会学術集会時の全国検査部長・技師長会議について報告があった。次々期当番校として佐賀大学が選出された。平成 23 年度会計報告、平成 24 年度予算案、全国検査部長・技師長会議に関する取り決めおよび今年のテーマを「検査部がかかえる諸問題」にすること、UMIN 協議会の検査部門の担当を今年度は東京大学がすること、表彰対象者を検査部会議 3 回以上出席に変更することについて審議され、了承された。表彰状および記念楯の贈呈が行われた。

Q：技師長会議を検査部会議の前日に開催するかについての検討はどうなっていますか？

A：全国国立大学臨床検査技師会総会の中に技師長会議も含むことを昨年の検査部会議で報告した。

Q：大学病院支援室としては診療支援部を今後どのようにしていくつもりですか？

A：宿題にさせていただきたい。

第四部 講演 『国立大学病院検査部における遺伝子検査の現況と課題』 13:50～14:20

東京大学 横田浩充 臨床検査技師長

司会 大阪大学 日高 洋 検査部長

国立大学病院検査部における遺伝子検査のアンケート調査結果に基づき、問題点・課題とその解決策について報告があった。

Q：疾患特有の遺伝子解析について、どこまで詳細な検査をしているかのアンケートはあるのか？

A：どこの施設に依頼すればどこまで詳細な結果が出るという情報を共有する必要がある。

Q：保険診療ではなく先進医療となる遺伝子検査について整理していく必要があると思うが？

A：その通りだと思う。

Q：検査部会議で遺伝子検査の研修をしていく予定はないのか？

A：全国規模では大変なので臨床検査技師会の地区単位の研修会などを利用したい。

第五部 シンポジウム 2 『時間外の輸血業務の安全確保』 14:30～16:00

司会 大分大学 犀川哲典 検査部長

旭川医科大学 友田 豊 臨床検査・輸血部副部長

1. 基調講演「時間外輸血検査における安全性確保」 福島県立医科大学 大戸 斉 医学部長

「輸血過誤の頻度」「異型輸血時の対応マニュアル」「病院における輸血安全対策」、「非日勤帯の輸血検査」などについて講演が行われた。

2-1. 「時間外輸血業務の安全性の担保と現状」 九州大学 堀田多恵子 臨床検査技師長

九州大学医学部附属病院の時間外輸血業務の安全性の担保と現状について報告があった。

Q：検査をするグループと輸血をするグループを入れ替えることはあるのか？

A：新人はまず輸血をするグループになるので、それに伴い入れ替わっている。

2-2. 「時間外輸血業務の安全性の担保と現状」 山梨大学 小池 亨 臨床検査技師長

山梨大学医学部附属病院の時間外輸血業務の安全性の担保と現状について報告があった。

Q：宿直なのか夜勤なのか？

A：夜勤です。

Q：輸血部の技師を検査部に配置換えすることを輸血部長と検査部長は好意的に了承したのか？

A：はい。

3. 「時間外輸血業務の安全性の担保に関するアンケート結果と大分大学の現状」

大分大学 宮子 博 臨床検査技師長

大分大学医学部附属病院の時間外輸血業務の安全性の担保と現状について報告があった。また、時間外輸血業務の安全性の担保に関するアンケート調査結果について報告があった。

16：00 閉会

◆資料一覧

1. 第59回全国国立大学法人病院検査部会議資料
2. 文部科学省特別講演資料
3. 平成24年度検査部会議会務報告資料
4. シンポジウム2『時間外の輸血業務の安全確保』資料